

# 天文学の扉を開こう

## 10月の夜空

### 【宇宙に見るもの】

きらめく星々を見ているうちに、夜空に吸い込まれそうな錯覚に陥り、宇宙の底知れぬ深さに畏怖したことがあるでしょうか。古（いにしえ）の人々は、そのような体験と日々の自然体験とを合わせて、人間が自然界において取るに足らない存在であると認識したのではないのでしょうか。

天文学は手の届かない自然を見つめる目が見つげ出した自然の規則性、つまり、星々の並びや動き、太陽の動き、月の形の変化や動き、惑星の動きから暦を作りだすことから始まったといわれています。人の世の成り立ちを知りたいという思いと相まって、天体の動きや変化を説明できるような世界像が作りだされ、それがそれぞれの時代の文明や文化を宇宙に位置づける「宇宙像」として人々の精神に刻まれたのでした。

望遠鏡を使って宇宙の奥深くまで見つめられるようになると、かつての宇宙像は観測に基づいた科学的な宇宙像に置き換わり、文明や文化を宇宙に位置づけるのではなく、「地球」を宇宙の中に位置づけるものへと変貌していきました。それは望遠鏡の発達だけでなく、観測技術とりわけ人工衛星による観測の発達をもたらしたものでしょう。

日常生活でお馴染みの気象衛星をはじめとして、地球を見つめる人工衛星が多数飛んでいます。それらは日々地球の様相を観測して、外から見た地球の姿を私たちに教えてくれます。相手が地球でなければ人工衛星は「探査機」と呼ばれ、惑星や小天体を探って地球と比べることによって、地球の特徴を浮き彫りにしてくれます。

こうして、望遠鏡や探査機は地球のすぐ外からはるかなる宇宙までを見ようとし、それが宇宙の中での地球の位置づけや存在意味を考えるよすがとなり、人工衛星は地球そのものを見つめて地球の営みとそこに関わる私たちの活動を考える材料をもたらしてくれます。

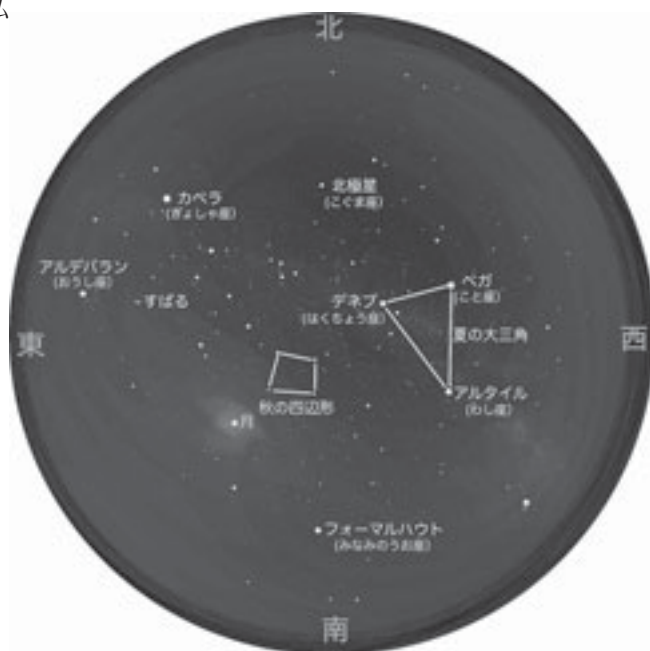
結局のところ、宇宙を見つめることは地球を見つめ私たちを見つめることになるというわけです。

### 10月のぐんま天文台のイベント

- ・15日(土) 携帯カメラやデジカメで月を撮ろう
- ・16日(日) 連続講演会「系外惑星を探る」①
- ・22日(土) 天文台秋祭り、星空さんぽ
- ・28日(金) 「星空をみよう」県民の日イベント
- ・30日(日) 連続講演会「系外惑星を探る」②

#### ○星図の説明

10月15日午後9時の高山村の星空。  
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも  
同じ星空になります。(「月」を除く。)



リトル  
ミュージアム

高山幼稚園5歳児の作品



ごとう さやか ちゃん  
折り紙で「カブトムシ」と「セミ」  
を作りました。



つづき みらい ちゃん  
夏休みの思い出「電車に乗った絵」  
を描きました。

わが家の

アイドル



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしております(\*^\_^\*) ☎26-7944(直通)



原 近藤 大耀くん(2歳)

僕の名前は「たいよう」です。  
誰にでも優しくできる人になって  
欲しいと願ってママが名付けてくれ  
ました。自動車や重機のおもちゃが  
大好きで、弟の駿汰と一緒に遊ぶの  
が楽しいんだ!

ばあちゃんの作る野菜や果物が  
とってもおいしくて、今年の夏はブ  
ルーベリーをたくさん食べたよ!

★願いどおり、とっても優しい子に  
育ってくれていて、ママもパパも  
とってもうれしいよ。これからも強  
くて優しい人になれるように、いっ  
ぱいご飯を食べて大きくなってね。



北之谷 山崎夢愛ちゃん(2歳)

私の名前は「ゆめあ」です。

愛華(まなか)お姉ちゃんと大  
夢(ひろむ)お兄ちゃんから一文  
字ずつ貰い「沢山の愛に包まれて  
育つように」と家族みんなに「夢  
愛」と名付けてもらいました。

愛犬のモコとぶーすけと一緒に  
お外に出てボール遊びをしたり、  
お散歩したり公園で遊ぶのが大好  
きです。

こちら「7代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは!第23期緑のふ  
るさと協力隊の増田雄太です。  
高山村に来て、約6カ月が  
経ち、高山ライフも後半戦に  
入りました。最近、朝晩が  
非常に涼しくなり、冬はどれ  
だけ寒いのだろうかと不安に  
感じています。笑

9月は半年ぶりに協力隊同  
期が集まる「中間研修」や、  
4泊5日で学生に高山村の魅  
力を感じて貰う「若葉のふる  
さと協力隊」、他にも様々な  
活動がありました。また、6  
月に種を蒔いたコスモスや百  
日草の花が咲き始めました。  
中間研修では、北は岩手県  
から南は宮崎県までに派遣さ  
れている同期20名が、それぞ  
れの活動の様子を報告しまし



中間研修で同期と一緒に



若葉のふるさと協力隊交流会にて

た。同期全員が苦勞しながらも、地域での生活を  
楽しんでいるようで、と  
ても励みになりました。  
若葉のふるさと協力  
隊では、大学生4名に参  
加して頂き、蕎麦打ちや  
農作業、座禅など高山村  
ならではの体験をして貰  
いました。参加者全員が  
高山村を好きになり、僕  
自身も高山村の魅力を再  
確認する、とても素晴ら  
しいプログラムになりま  
した。協力していただき  
た地域の皆様、本当にあ  
りがとうございました。  
残り半年の高山村の  
生活も楽しんでいこうと  
思います。よろしくお願  
いします。

緑のふるさと協力隊ブログ「高山てくてく」 <http://life-takayama.hatenablog.jp/>